

生ごみ処理機器設置事業

家庭から出る可燃ごみのうち、約30%が生ごみでそのうち約80%が水分と言われています。市では、「津山市第2次ごみ減量新行動計画」の減量目標に、家庭可燃ごみの減量目標を挙げています。生ごみ減量の啓発（食材購入時の注意、生ごみが出ない調理の工夫、ごみ出し時の水切りの徹底など）はもちろん、生ごみ処理機器（電気式生ごみ処理機・コンポスト容器・ボカシ処理容器）を購入、設置する世帯に対して補助金を交付し、生ごみの減量をお願いしています。

特に、平成25年度から、できるだけ多くの皆さまに生ごみを家庭で処理していただくために電気式生ごみ処理機の補助を拡大（上限額を増額）しております。

●生ごみ処理容器設置事業補助金交付状況(コンポスト・ボカシ処理容器)

年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
補助件数	138	189	201	167	185	179	147	112	105	133
補助金額(円)	229,620	335,310	366,810	315,500	359,450	358,800	280,450	250,400	240,600	319,200
目標件数	-	-	-	167	173	178	184	189	195	-

※昭和61年4月1日から補助制度実施

●電気式生ごみ処理機設置事業補助金交付状況

年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
補助台数(台)	121	109	81	49	54	41	83	62	55	54
補助金額(円)	2,419,750	2,174,150	1,592,450	979,900	1,080,000	820,000	2,453,000	1,644,600	1,602,500	1,569,900
目標件数	-	-	-	49	66	83	100	116	133	-

※平成9年7月31日から補助制度実施

それに、生ごみは水分が約80%も含まれているから、生ごみの減量ができればごみを燃やすエネルギーの節約にもなるわ！

津山市のごみ量から計算すると、生ごみ処理機器で処理して、生ごみを1年間出さなかったら1人が約40kg生ごみを減らすことになるんだって。すごい減量になるね！

